

第2期学際プロジェクト募集結果について

工学研究院における5年間にわたる第1期学際プロジェクト研究期間を今年度にて完了したことを受けて、新たに第2期学際プロジェクト研究の募集を行いました。研究企画経営会議で検討した結果、下表に示した6つのプロジェクト研

究を予定しました。2007年度の立ち上げから5カ年の計画で工学研究院を代表する分野融合型研究としてその進展を図り、本学の目標である実践的な学術拠点形成への貢献が期待されます。

第2期学際プロジェクト研究

テーマと概要	代表者
<p>「持続型社会を担う水素エネルギー横浜プロジェクト」</p> <p>持続的成長を可能にする水素エネルギー社会実現のため、再生可能エネルギーから水素を効率よく製造し、輸送、貯蔵を経て利用するためのシステムを対象とし、概念検討、要素システム、材料設計、開発、安全性評価・管理に対して教育研究を行うための横断的な研究基盤整備を行う。</p>	太田健一郎
<p>「海洋・都市基盤技術のイノベーション」</p> <p>海洋およびそれに面する都市の持続的発展に資する技術イノベーションの展開を多面的に研究する。海洋沿岸技術面からと港湾都市マネジメント技術面からのアプローチを並行的に行うとともに、融合テーマの模索を行う。</p>	角 洋一 中村文彦
<p>「ナノバイオテクノロジー研究：細胞制御とバイオマーカー」</p> <p>バイオサイエンスの進展を背景とする先進的、融合的、学際的な課題として、ナノテクノロジー産物であるナノ粒子などからのストレスについて、細胞、個体、集団に対する効果・影響の解析と評価を対象とし、学内3部局から結集した研究チームで新分野創出を目指す。</p>	小泉淳一
<p>「実装技術創造プロジェクト」</p> <p>基礎物性・材料・プロセスから応用分野までの研究者がチームを組み、産学官公連携組織である「よこはま高度実装技術コンソーシアム」との連携体制により、個別技術を追求すると共にそれらを統合し、システムインパッケージおよび関連技術の開発を行う。</p>	羽深 等
<p>「情報通信技術によるグローバル社会基盤創生」</p> <p>我が国が世界に誇る情報通信技術に基づき、医療、交通、金融、エネルギーなどの世界中にグローバルに役立つ社会基盤を創生する。本グループが世界をリードする光・電波融合情報通信領域を学術基盤とし、個別技術を究めつつ、それらの技術に跨る独創的技術を教育研究する。</p>	河野隆二
<p>「快適未来社会を育むモーションテクノロジーの創生」</p> <p>ミクロからマクロ、要素からシステムを含んだ運動機能を包含する、モーションテクノロジーを共通に、ヒューマノイドロボット、人と機械の相互発展、およびマイクロモータリティデバイスプロジェクトを遂行し、快適な未来社会を育むために基盤技術の研究を行う。</p>	河村篤男 高田 一 丸尾昭二